バリアフリーフェスタかながわについて

資料４

1　目的

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議（以下「県民会議」という。）では、障がい者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めている。

　その一環として、県内の障がい者等の関係団体や事業者・ＮＰＯ団体、県民からの公募委員、行政の協働により、「バリアフリーフェスタかながわ」（以下「フェスタ」という。）を開催している。

　１～４回目は相模原市内の商業施設にて開催し、５回目は開催場所を移し、横浜市の大学構内の施設にて開催した。６回目となる昨年度は横浜市内の商業施設で開催した。

　このフェスタは、県民会議内に設置された実行委員会が企画・立案したもので、その目的は、平成24年９月に県民会議が取りまとめた提案書を広く県民に周知するとともに、バリアフリーの街を体感してもらうことで、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めていただくことにある。

〔企画・立案に当たっての考え方〕

・　県民会議の理念に基づき、県民・事業者・行政が協働で実施する。

・　継続的にフェスタが開催できるよう、持続的かつ安定的な開催形態を意識して準備を進める。

・　県民から広く意見を募るよう、開催会場は誰もが自由に参加できるような場を　　　設ける。

・　当事者団体・事業者団体からの参加を積極的に促す。

・　県民から多くの意見をもらえる形式とする。

・　来場者が気軽・身近に感じられる参加型・体験型の内容を中心としつつ、来場者が「大変だね」「かわいそう」では終わらない、バリアフリーの必要性、支えあいの心を自然と身につけるものとする。

・　ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、来場者の誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとする。

・　フェスタ全体で統一的なテーマを設定して、各団体のコーナー運営に取り入れる。

２　令和元年度の開催について

(1) 日時

令和元年11月２日（土）　11：30～17：00

(2) 場所

横浜新都市ビル（そごう横浜店）９階センタープラザ、新都市ホール、

新都市ホールホワイエ（横浜市西区高島2-18-1）

(3) 内容

　ア　テーマ

「やってみよう！あんなことやこんなこと～ともに生きる社会に向けて～」

イ　県民会議構成団体を含む20団体が16コーナーを企画し、運営

ウ　事務局では、表彰事例の展示を実施するとともに、相談窓口として、

関係コーナーへの案内を実施

エ　抽選会場では、抽選の玉を用い、カラーバリアフリーを周知

オ　スタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーの実施

〔スタンプラリーの達成条件〕

カ　コーナー３か所以上のスタンプをスタンプラリー台紙に集める。

キ　上記に加えて、アンケートへの回答を景品引換の達成条件とする。

ク　同日、県主催の介護フェアinかながわが開催され、スタンプラリーの

周るコーナーと設定するなど相互の乗り入れを図る。

＜参考資料４－１＞

【参考】　平成30年度の開催結果について

(1) 日時

平成30年11月４日（日）　11：30～17：00

(2) 場所

横浜新都市ビル（そごう横浜店）９階センタープラザ、新都市ホール、

新都市ホールホワイエ（横浜市西区高島2-18-1）

(3) 参加者数　※〔　〕は平成29年度の数字

ア　コーナー参加者数　　　　　1,201名〔1,014名〕

（※　各団体でカウントした参加者の合計人数）

イ　スタンプラリー達成者数　 221名〔 158名〕

＜参考資料４－２＞